TOTO

電気温水器
湯ぽっと RE01シリーズ
REA01型・REC01型・RE01M型

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、製品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、つぎのようになっています。

表　示	意　　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

下記に示す内容は、施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取り付けていただくものです。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

絵表示	意　味	絵表示	意　味	絵表示	意　味
	禁　止		必ず実行		アース接続

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠ 警告

分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない（感電や故障の原因になります。）
禁　止	指定する電源以外では使用しない（ヒーターの断線・火災などの原因になります。）
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない（感電・火災の原因になります。）
	屋内用のため、屋外には設置しない（感電や故障の原因になります。）
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない（火災の原因になります。）
	水・油・洗剤などがかからない位置に電源プラグ用のコンセントを設ける（感電の原因になります。）
水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない（故障、感電の原因になります。）
アース接続	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う また、漏電遮断器を取り付ける（誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。）

⚠ 注意

禁　止	タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない（空焚きとなり故障・事故の原因になります。）
	水道水以外は、通水しない（井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。）
	商品に強い力や衝撃を与えない（故障や水漏れの原因になります。）
	専用水栓の吐水口にホースや浄水器などの抵抗となるものを接続しない（機器の破損や水漏れの原因になります。）
	先止め式水栓金具は使用しない（水圧によりタンクが破損し、水漏れするおそれがあります。）
必ず実行	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる（通水前の配管には砂やシールテープなどのゴミが混入しているケースが多く、内蔵していますフィルターだけでは完全にゴミが取りきれません。このゴミなどが機器内に入ると故障の原因になります。）
	REA01型、REC01型は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場所では使用しない（凍結破損し水漏れするおそれがあります。）
	RE01M型は凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防処置を行う また、必ず水抜きがスムーズにできる勾配で配管する（凍結破損し水漏れするおそれがあります。）
	水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする（空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。）
	フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりフィルターふたを緩めずに、止水栓を閉めてから行う（水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。）
	設置する際は必ず天面を上にして水平に取り付ける（天面を上にしない場合高温の湯が出湯されやけどのおそれがあります。）
	専用水栓を必ず使用する（水漏れの原因になります。）

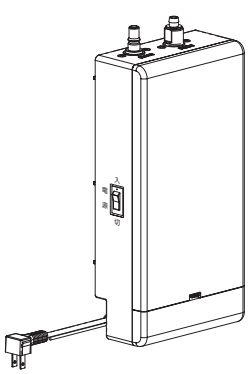
お　ね　が　い

- 必ずフィルター付き止水栓を取り付けてください。
- 給水圧力は0.05～0.75MPaです。この圧力の範囲内でご使用ください。
- 給水管にはフレキシブル管をご使用ください。（鋼管などで接続されると、機器のフィルターの清掃が困難になります。）
- 取扱説明書内の保証書に、お買上げ店または工事店名およびお取付日を必ず記入してください。
- 空焚き、施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。
- コンセントは、接地用端子の付いた接地極付コンセントを取り付けてください。
- 必ず電気温水器専用のコンセントを設置してください。ウォシュレットなどとコンセントを兼用する場合は電流容量の十分なコンセントをご使用ください。コンセントの電流容量が不足することがあります。

2 部品の確認

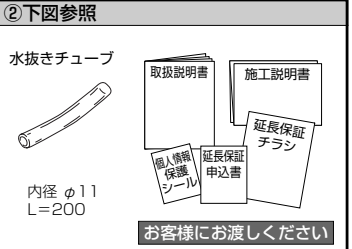
まず、次の部品があることを確認してください。

①電気温水器本体

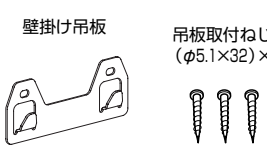


※機種により配管接続口形状が異なります。

②下図参照

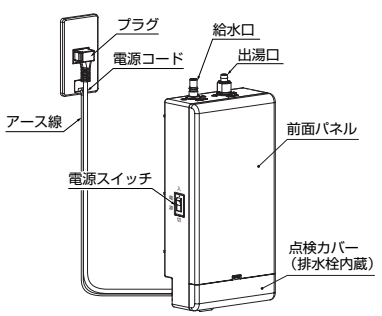


③固定金具類

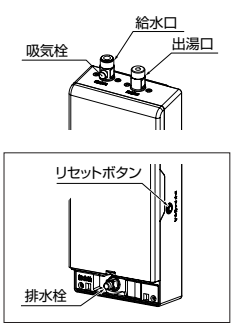


3 各部の名称

REA01/REC01



RE01M

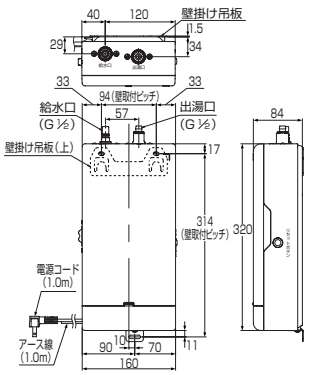


4 仕　　様

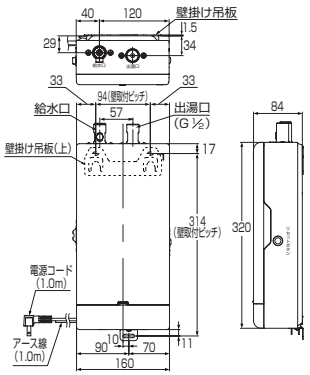
機種品番		REA01型	REC01型	RE01M型
貯湯量		約1L		
定格	電圧	AC100V		
	周波数	50/60Hz		
	消費電力	505W（ヒーターOFF時：待機中0.4W：作動時0.6W）		505W
給水方式		元止め式		
沸き上がり温度		沸き上がり直後：約38℃（保温時：約38～28℃）		
主要部品	ヒーター	シーズヒーター（タンク一体型）		
	温度調節器	自動復帰式バイメタル		
安全装置	温度過昇防止器	自動復帰式バイメタル＋手動復帰式バイメタル		
	アース	約1.0m		
商品寸法		幅160mm×奥行84mm×高さ320mm		
商品質量(満水時質量)		約2.3kg(約3.3kg)		約1.8kg(約2.8kg)
電源コード		約1.0m		
吐水流量		毎分約3Lまたは毎分約4L（対応する手洗器による）	毎分約4L	毎分約4L
使用条件	使用環境温度	1～40℃		
	使用水	水道水		
	使用水圧	0.05～0.75MPa		

5 寸法図

REA01型・REC01型



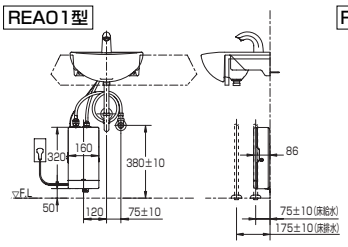
REO1M型



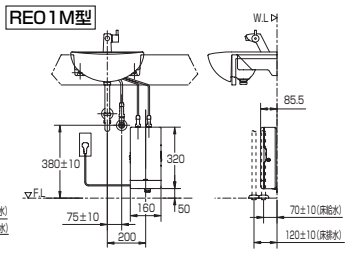
6 標準施工図

〈カウンター式手洗器設置の場合〉

REA01型



REO1M型

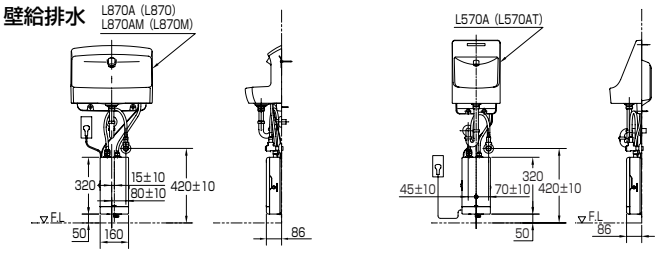


注意	本体をF.Lから50mm以上離して取り付けてください。 ただし、本体を上げすぎると配管の取り回しができなくなるおそれがあるので注意してください。 側面の壁から50mm（メンテナンスに必要な寸法）以上離して取り付けてください。
	REA01型、REC01型、REO1M型は縦設置型です。 横向きには設置しないでください。

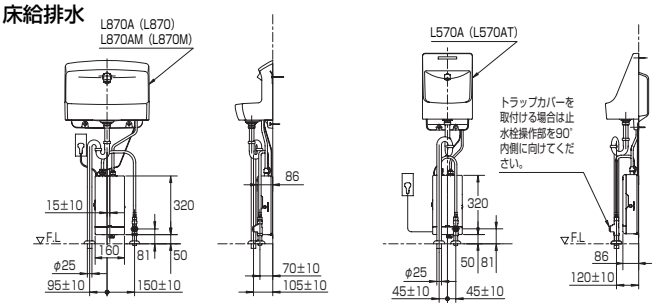
〈コンパクト手洗器設置の場合〉

REA01型、REC01型 ※トラップカバーの取り付けをされる場合は、トラップカバーの施工説明書と合わせてご覧ください。

壁給排水



床給排水



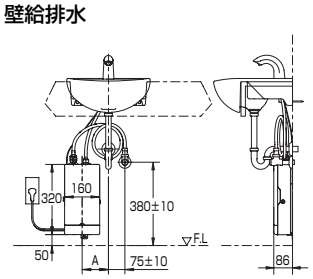
※図は、REA01型を示す。（　）内品番はREC01型用

注意	本体をF.Lから50mm離して取り付けてください。 50mm以上上げると配管の取り回しができなくなります。 側面の壁から50mm（メンテナンスに必要な寸法）以上離して取り付けてください。
	床給水、床排水の際、トラップカバーを取り付ける場合はフランジを取り付けないでください。

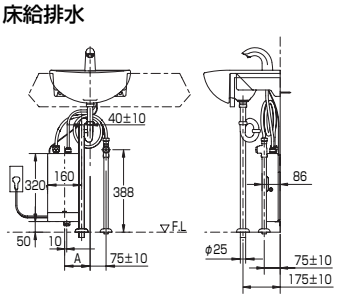
〈壁掛手洗器設置の場合〉

REA01型

壁給排水



床給排水

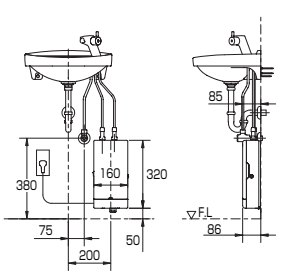


対象陶器	品番	A寸法
	L10D	−225
	L30D·DM	120
	L650D	120

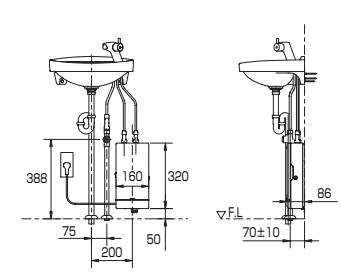
対象陶器	品番	A寸法
	L10D	−225
	L30D·DM	120
	L650D	120

REO1M型

壁給排水



床給排水



注意	本体をF.Lから50mm以上離して取り付けてください。 ただし、本体を上げすぎると配管の取り回しができなくなるおそれがあるので注意してください。 側面の壁から50mm（メンテナンスに必要な寸法）以上離して取り付けてください。

7 取付手順

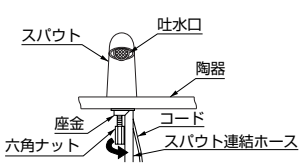
1．スパウトの仮り締め

注意	本体取付位置は、標準施工図を遵守ください。
	水栓は、元止め専用水栓を必ず使用してください。 先止め用水栓を使うと水漏れの原因となります。
	コンパクト手洗器のトラップカバーを取り付ける場合は、電気温水器を取り付ける前にトラップカバーの施工説明書にしたがってトラップカバーの固定金具を先に取り付けてください。
	電気温水器に幅木が当たる場合は幅木をカットしてください。
	取付面がタイル・コンクリート壁の場合は市販のカールプラグをご使用ください。

※壁掛・カウンター式手洗器用自動水栓の場合

電気温水器本体設置前に、スパウトを仮り締めしてください。

①スパウトを陶器に差し込んでください。
②吐水口を排水方向に向け座金を六角ナットで仮り締めしてください。



注意	スパウト連結ホースとコード類がかみ込まないようにしてください。
	センサー面を傷付けないよう十分注意してください。
	インバータや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

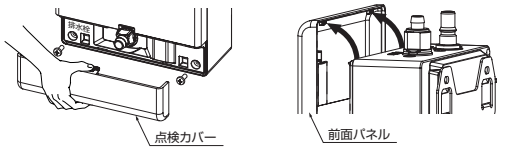
2．ビス穴位置のケガき

注意	施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。

電気温水器本体の固定位置を決め、壁に取付金具のビス穴位置をケガいてください。
（寸法図で壁取付ピッチを確認してください）

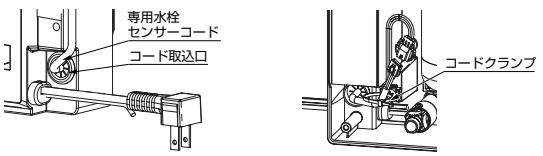
3．センサーコードの接続（REA01, REC01）

（1）点検カバーを取り外し、両サイドのねじ（2個）を取り外してください。その後、前面パネルを上方に引き上げながら取り外してください。
（前面パネルは上部のツメで固定しますので取り外し時は注意してください。）

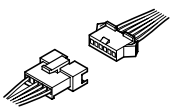


別売品のウィークリータイマー（RHE657）を取り付ける場合は、ここでコードの接続を行ってください。詳しくはウィークリータイマーの施工説明書をご覧ください。

（2）専用水栓のセンサーコードのコネクタ（おす）と電気温水器専用水栓用中継コードのコネクタ（めす）を接続します。
専用水栓のセンサーコードを背面のコード取込口から電気温水器本体内部へ差し込んでください。
本体に取り込んだセンサーコードとコントローラから出ているコネクターを接続してください。また、コードクランプでコードをしっかり固定してください。（コードを固定する際はコードの太い部分で固定してください。）



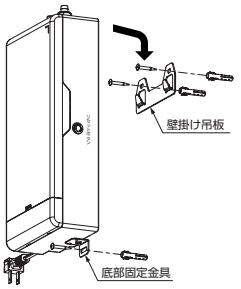
注1：コネクタは、カチッと音がするまで確実に差し込んでください。
注2：電気温水器本体を旧品（RE01A, RE01C）から取り替える場合は、センサーコードとコントローラから出ているコネクタの間に中継コードが必要となります。旧品のものを流用するか、別売品を購入して取り付けてください。
・中継コード品番　REA01用：RHE345
　　REC01用：RHE495



（3）前面パネルと点検カバーを取り付けてください。

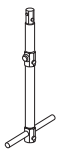
4．電気温水器の設置

（1）タイルまたはコンクリート壁に取り付ける場合
①ビス穴位置に下穴を開けカールプラグ（現場手配）を打ち込みます。
※カールプラグは木ねじ（φ5.1×32）にあうものを手配してください。
②壁掛け吊板を固定位置に合わせて木ねじ2本でしっかりと固定します。
③壁掛け吊板へ電気温水器本体を引っ掛け、底部固定金具を木ねじ1本でしっかり固定します。
※本体が水平になるように取り付けてください。

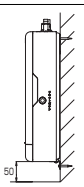


（2）木製の壁材に取り付ける場合
製品満水時の質量に耐えうる構造であることを確認し、壁掛け吊板を木ねじ2本で固定し底部固定金具を木ねじ1本で固定してください。また、必要に応じて壁構造に応じた十分な補強を施してください。

〈壁掛・カウンター式手洗器用自動水栓の場合〉
電気温水器本体設置後、六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定してください。
※六角ナットの締付用として、別売で専用工具（TZ40L）を準備しておりますが、下記の一般工具でも取付可能です。
・ソケットレンチ（対辺13mm）
・T型レンチ（対辺13mm）
・ナットスピンナーハンドル（対辺13mm）


締付専用工具
（別売品：TZ40L）

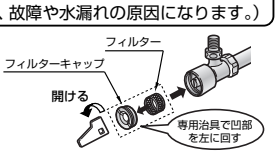
注1：本体の水ぬれ防止、本体の排水を容易にするためF.Lから本体底面を50mm上げて取り付けてください。
本体を上げすぎると上部の配管の取り回しができなくなるおそれがあります。



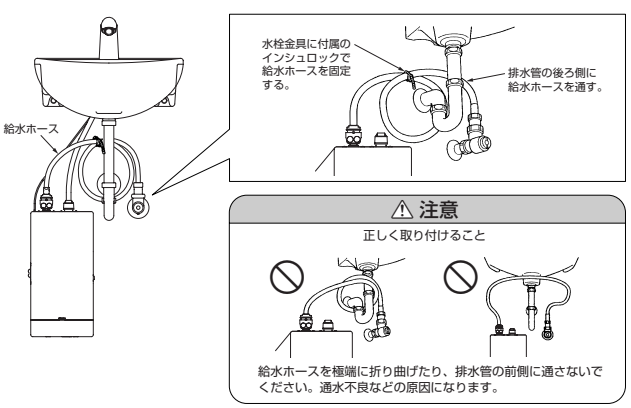
5．配管類接続

注意　給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる
（フィルターを通ったごみが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。）

給水口に接続する前に止水栓フィルターの網目に詰まったゴミなどを取り除いてください。

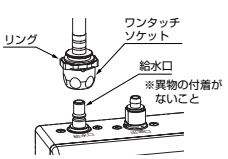


〈REA01をカウンター式手洗器・壁掛手洗器に取り付ける場合〉
■給水ホースを下図のように取り付けてください。

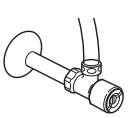


〈REA01，REC01〉
（1）給水ホースのワンタッチソケットを電気温水器の給水口にまっすぐに、「カチッ」と音がするまで差し込んで接続してください。

注1：リングがセットされていることを確認してください。

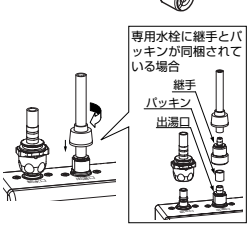


（2）ワンタッチソケットの反対側を止水栓に接続してください。

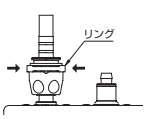


（3）出湯口に出湯ホースを差し込んだ後、袋ナットを手で締め付けてください。
ホースが長い場合は、適当な長さに切断してください。

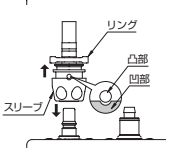
注1：切断にはカッターなどを用い、切断面が垂直になるようにしてください。



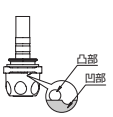
〈ワンタッチソケットの外し方〉
（1）指で押してリングを広げ片方ずつ上側へ上げる。



（2）スリーブを回し、凹部と凸部を合わせる。
（3）スリーブを上げる。
（4）カプラを引き抜く。

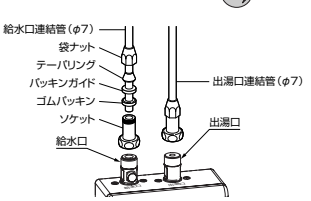


（5）スリーブを回し、凹部と凸部をずらし、リングをスリーブの上（元の位置）にセットする。



〈RE01M〉
（1）給水口連結管、出湯口連結管（φ7…600mm）に図のように部品を入れ、ソケットに差し込んだ後、給水口、出湯口にねじ込み固定してください。

注：連結管のラベルと電気温水器の表示を確認してください。



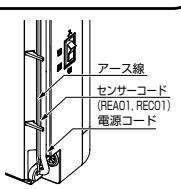
8 電気工事

電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
また、漏電遮断器を取り付ける
（誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります）

消費電力、電源を銘板で確認し、必ずこれに適した配線を行う
（火災の原因になります）

1．コードの収納

電源コード、アース線、センサーコード（REA01, REC01）を収納する場合は、左背面のツメに固定してください。

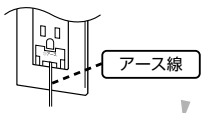


9 試　運　転

タンクが空のときは絶対に電源スイッチを入れない
（空焚きとなり故障、事故の原因になります）

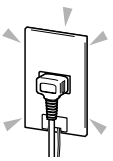
（1）電源スイッチが「切」になっていることを確認してください。

（2）電気温水器のアース線をコンセントのアース端子に接続してください。



（3）電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込んでください。

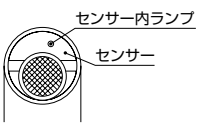
【注】タンクへの給水が完了するまで電源スイッチは「切」のままにしておいてください。



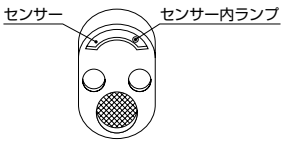
注意
〈自動水栓の場合〉
電源が入ると直ちに感知距離を設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。
（約20秒でこの動作は完了します）

（4）〈自動水栓の場合〉
センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態でスパウト先端のセンサー内ランプが点滅していないことを確認してください。
※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。再度確認を行う場合はセンサーコネクタを一度抜き、差し込みなおしてください。

壁掛・カウンター式手洗器

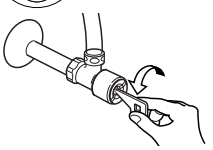


コンパクト手洗器



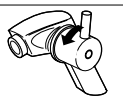
（5）止水栓を開けてください。

注意
給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。
（水から臭いがするおそれがあります）



（6）〈手動水栓の場合〉
水栓ハンドルを全開にしてください。

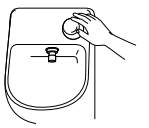
壁掛・カウンター式手洗器



〈タッチスイッチ水栓の場合〉
タッチスイッチを押すと水が出ます。

【注】電源投入後、最初の3回はスイッチを押すと約5分間水が出ます。
もう一度スイッチを押すと水が止まります。

コンパクト手洗器



〈自動水栓の場合〉
吐水口に手を近づけてセンサーを作動させてください。

壁掛・カウンター式手洗器　コンパクト手洗器

（7）吐水口から水が出はじめるとタンクが満水です。

【注】満水になるまでは約20秒かかります。

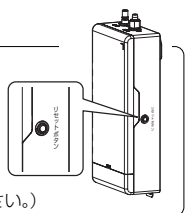
（8）配管接続部に水漏れがないか確認してください。
（9）電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認してください。

空焚禁止（タンクが満水になる前に電源スイッチを「入」にしないでください）

（10）タンク内の水温が約38℃になると、自動温度調節器が作動し、電源スイッチのランプが消灯します。

【注】沸き上がるまで約4分かかります。

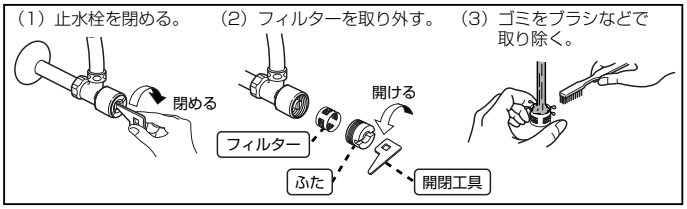
空焚きリセット方法
※万一空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器のリセットボタンを押して安全装置を解除してください。
（1）電源スイッチを「切」にする。
（2）タンクに水を入れてタンクの温度を下げる。
（3）電源プラグを引き抜く。
（4）電気温水器右側面のリセットボタンを押す。
（「カチッ」と音がするまで2～3度奥に押し込んでください。）



10 フィルターの掃除

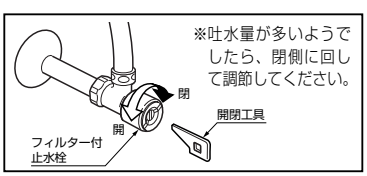
止水栓のフィルターがつまると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずフィルターを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

（1）止水栓を閉める。　（2）フィルターを取り外す。　（3）ゴミをブラシなどで取り除く。



11 吐水量の調節

定流量弁を内蔵しており基本的に調節は不要です。ただし、水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれのある場合は、付属の開閉工具でフィルター付止水栓を回して、吐水量を調整してください。

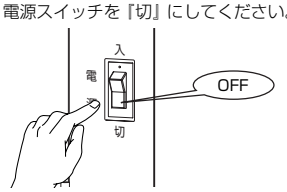


12 水抜き方法

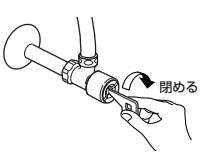
試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

必ず電源スイッチを「切」にして電源プラグを抜いてください。
（空焚きとなり故障、事故の原因となります）

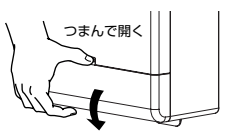
（1）電源スイッチを『切』にしてください。



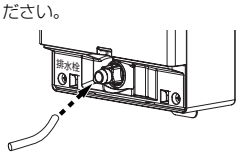
（2）止水栓を閉めてください。



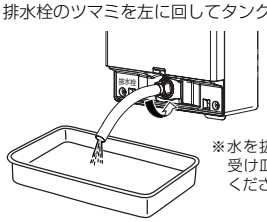
（3）点検カバーを取り外す。



（4）排水栓に水抜きチューブを接続してください。

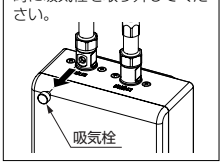


（5）排水栓のツマミを左に回してタンク内の水を抜いてください。



※水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

RE01Mについては、水抜き時に吸気栓を取り外してください。



（6）水抜き後は電気温水器の排水栓を閉じてください。
RE01Mは吸気栓を取り付けてください。

注意
REA01型、REC01型は、寒冷地対応品ではありません。電気温水器・水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
RE01M型は凍結のおそれがある場合は、必ず凍結予防処置を行ってください。（凍結破損し水漏れするおそれがあります）

13 工事店様へ

1．施工が終わったら必ず各接続部から水漏れの無いことを確認してください。
2．しばらく使用しない場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜き止水栓を閉め、電気温水器の水抜きをしておいてください。
3．お客様に取扱説明書の使用方法、日常の点検・手入れなどについて十分ご説明ください。
4．特に次のことについては十分にご説明ください。
（1）タンク内が空のとき、絶対に電源スイッチを「入」にしないこと。
（2）吐水口を絶対にふさがないこと。
（3）沸き上がる途中では吐水口から湯が滴下しますが、これはタンク内の水が膨張するためで故障ではないこと。
（4）凍結予防のための使用方法。（RE01M型のみ）
（5）冬期使用時、最初に冷たい水が出ることがありますが、これは配管内に残水があるためで故障ではないこと。